

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 25日

愛知県知事 殿

提出者

住所 愛知県安城市小川町久々井 1番

氏名 株式会社 アイシン 小川工場

工場長 鶴岡 正人

電話番号 050-3174-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 アイシン 小川工場
事業場の所在地	愛知県安城市小川町久々井1番
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
2 事業の規模	製造品出荷額 (11,790,139万円)
3 従業員数	1,076名

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>廃プラ：中間処理業者に委託して破砕後原料化もしくは焼却後建設材料として再資源化</p> <p>金属屑：中間処理業者に委託して焙焼後原料として再資源化</p> <p>ガラス・陶磁器屑：中間処理業者に委託して破砕後原料として再資源化</p> <p>汚泥（社外処理）：中間処理業者に委託して脱水後建設材料として再資源化 中間処理業者に委託して圧縮固化後、原材料として再資源化</p> <p>汚泥（社内処理）：脱水・焼却（社内処理）後、飛灰は路盤材、燃え殻はセメント原料化</p> <p>廃油（社外処理）：中間処理業者に委託して油水分離後燃料として再資源化</p> <p>廃油（社内処理）：濃縮後（社内処理）中間処理業者に委託して燃料として再資源化</p> <p>廃酸・廃アルカリ：中間処理業者に委託して中和後、埋立</p> <p>木屑：中間処理業者に委託して破砕後再資源化</p>
-----------------	--

（日本工業規格 A列4番）

（第2面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
（管理体制図）			
<p>小川工場→環境管理総括者 工場長</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>環境管理推進責任者 工場技術室長</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>産業廃棄物管理責任者 工場 環境課長</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>工場廃棄物分科会会長 工場 環境課長</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>工場廃棄物分科会メンバー 工長・主任</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	別紙参照	
（これまでに実施した取組）			
<p>汚泥：排水処理場から出るスラリーを脱水、脱水後の汚泥を西尾工場にて焼却し減量化。</p> <p>金属屑、廃プラ（ペットボトル含む）：分別の徹底及び有価アイテム発掘、啓蒙活動による産業廃棄物の低減実施。</p>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	

		排出量	別紙参照	
		(今後実施する予定の取組) 汚泥：スラリーの脱水、社内焼却を継続。 金属屑、廃プラ：分別の強化、徹底、有価アイテム発掘による有価化及び低減活動継続実施。		
産業廃棄物の分別に関する事項				
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属屑、廃プラ等は各職場での徹底した分別を実施中。		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属屑、廃プラ等分別管理の徹底を継続実施する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
1 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙参照		
	(これまでに実施した取組) 再生利用実績は無し。			
	②計画			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙参照		
	(今後実施する予定の取組) 再生利用の計画は無し。			
	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		

	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙参照	
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙参照	
	(これまでに実施した取組) 排水処理場から出るスラリーを脱水後、社内焼却炉（西尾工場）にて焼却処理し減量化。		
	②計画		
	【目標】		
産業廃棄物の種類	別紙参照		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙参照		
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙参照		
(今後実施する予定の取組) 今の取り組みを継続。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙参照	
	(これまでに実施した取組) 実績無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙参照	

		(今後実施する予定の取組) 計画無し。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	別紙参照	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙参照	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙参照	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	別紙参照	
	(これまでに実施した取組) 分別を徹底し、再生利用業者への委託を推進。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	別紙参照	
	優良認定処理業者への処 理委託量	別紙参照	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙参照	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照	

		<p>認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量</p>	<p>別紙参照</p>	
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>分別管理の徹底と再生利用業者への委託の推進、及び 現地調査実施による適正処理状況の確認。</p>				
<p>※事務処理欄</p>				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類(名称)		汚泥	金属屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス屑 陶磁器屑	木屑	合計
◇産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	前年度実績	1,508.26	0.16	1,517.05	113.58	118.43	51.76	5.74	4.18	3,319.16
	目標	1,493.18	0.16	1,509.46	112.44	117.25	51.24	5.68	4.14	3,293.55
◇自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
◇自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	前年度実績	1,297.42	0.00	1,459.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,756.78
	目標	1,284.45	0.00	1,452.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,736.51
◇自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
◇産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
全処理委託量	前年度実績	210.84	0.16	57.69	113.58	118.43	51.76	5.74	4.18	562.38
	目標	208.73	0.16	57.40	112.44	117.25	51.24	5.68	4.14	557.04
優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	206.02	0.16	55.92	113.58	118.43	50.42	2.93	4.18	551.64
	目標	203.96	0.16	55.64	112.44	117.25	49.92	2.93	4.14	546.44
再生利用業者への処理委託量	前年度実績	210.84	0.16	57.69	113.58	118.43	51.76	5.74	4.18	562.38
	目標	208.73	0.16	57.40	112.44	117.25	51.24	5.68	4.14	557.04
熱回収認定業者への処理委託量	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38	0.00	0.00	0.38
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38	0.00	0.00	0.38
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	49.30	0.00	0.00	49.30
	目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	48.81	0.00	0.00	48.81